

第一回学校運営協議会 議事録

1 会長あいさつ 阿部 彰 学校運営委協議会会長

2 校長あいさつ 永井康博 校長

- ・学校運営協議会の意味について
- ・コロナ禍の制限が緩和された中での教育活動の現状について

3 協議

(1)新庄中学校運営協議会要綱について

- 要綱の確認 変更なし了承

(2)今年度の学校経営について

- 校長より学校経営等について説明

- ・制限緩和後、積極的に地域に出向いての活動。検定など各種活動へのチャレンジ
- ・特別支援教育の充実について(今年度、特支学級増) ・教員の OJT、初任者研修を通して
- ・部活動の変革について ・働き方改革の推進

- 4月からの生徒の様子

- ・175名、3クラスは3年生のみ
- ・愛修会活動の充実、主体的な活動、校則の見直しに向けて
- ・不登校傾向の生徒の実態

各委員より

- ◇新庄開府400年事業との関連での中学生のかかわりは、合唱など経験させたい
- ◇キャッスルサイド(合唱サークル)が、指導で協力できるのではないか。地域とのつながりを。

(3)ふるさと学習について

- ・1学年 総合的な学習の時間 ・3学年 職業体験学習

各委員より

- ◇人とのつながりを大切にするためにも、人を知ること、地域として協力できる。
- ◇歴史を学ぶ場合、戸沢神社日下氏の協力も。

(4)部活動について

各委員より

- ◇地域移行、クラブ化について。クラブ化で熱が入り、学校生活に悪影響はないか。
- ◇新庄小の合唱団への協力を考えている。
- ◇市などからクラブで活動する際の財政的な補助は得られないのか。→現在ない。
- ◇小学校との情報共有も大切にする。数年後新庄中に入部した際にかかわってくる。

(5)意見交換

各委員より

- ◇SNS のトラブルについて、親の責任の意識向上を図る。教師の働き方改革にもつながる。
- ◇地区の子供減少が課題。町内会、育成会など単独で行事も行えず、活気が減少。枠組みを超えての協力体制が必要。大人と子供のかかわるようにしたい。

(6)その他